

# 全国公営企業初！紙パック水「ところざわの水」

## によるイメージアップ事業

—No.7 所沢市—

### 【事業の目的】

本事業は、「安全で安心、良質な水道水」である本市の水道水を、環境に配慮した紙製容器（以下、「紙パック水」という）に充填し提供することを通じて、戦略的なPRに努めることを目的としたものです。さらに紙パック水「ところざわの水」の販売によって地域経済の活性化に繋がることを目指しました。

### 【事業の内容】

紙パック水の製造は令和2年度に迎えた市制施行70周年記念の一環とした事業であり、これまで製造していたペットボトル水に代わるものです。「安全で安心、良質な水道水」だけでなく「環境問題への取組」についても広報する取組は、全国の地方公営企業としては初めての試みです。

#### ＜製品仕様＞

- (1) 内容量：1,000ml
- (2) 寸法：H250×W75×D65 mm
- (3) 素材：紙（本体）、プラスチック（注ぎ口）
- (4) 製造加工：高熱殺菌処理
- (5) 賞味期限：令和2年6月製造から1年間
- (6) 製造本数：18,000本

### 【事業年度】

令和2年度

### 【予算額(千円)】

5,654千円

## 【財源】

水道料金等の事業収益

## 【事業実施に至った背景・経緯】

国際的な廃プラスチック議論の高まりや国連の提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」が広がりを見せる中、本市では平成30年12月に「マチごとプラスチックごみ削減」を宣言し、プラスチックごみの発生抑制や適正処理、使用抑制に取り組む活動を開始しました。これを契機に、これまで製造してきたペットボトル水を見直し、紙パック水「ところざわの水」を製造しました。

## 【事業のPRポイント】

製造と販売それぞれに課題がありましたが、関係機関からの協力と支援を得ることで紙パック水の製品開発を進めました。

### 1. 製造方法

製造に係る課題として、①水を製造する専用ラインの確保、②外部の水を受入れできる設備、③製造時に色や香りが移らない高品質の確保、この3つを掲げていました。開発の過程において、受託製造企業（以下「OEM」という）との度重なる協議とテスト製造の末、3つの課題を解決し、以下のとおり製造方法を確認することができました。

#### ① 水を製造する専用ラインの確保

OEMは、これまでの受託製造の実績から水の充填ラインを再稼働することとしました。

#### ② 外部の水を受入れできる設備

本市が手配する水運搬車両をポンプ機能付の車両とすることで、OEMの既存設備に水の受け入れを可能としました、このことで、OEMによる新たな設備投資が不要となりました。

#### ③ 製造時に色や香りが移らない高品質の確保

OEMは、高熱スチームによる製造ラインの洗浄等を実施することにより品質を保証することができました。

### 2. 販売方法

販売に係る課題として、①商品の付加価値、②販売価格、③販路の確保、この3つを掲げていました。所沢商工会議所との相談を重ねた末、戦略的な販売手法のアドバイスを仰ぎ、以下のとおり販売方法を確立することができました。

#### ① 商品の付加価値

販売の決め手となる特別な成分を含む地下水ではないことから、パッケージのデザインに着目し、本市イメージマスコット「トコロん」を起用しました。コンセプトは「水と郷土愛」とし、幅広い世代の方に手に取っていただきやすいデザインを作成しました。

## ② 販売価格

市場で販売されているミネラルウォーターの価格を参考とし、市制施行70周年記念事業の要素を盛り込み、卸価格を70円(税込)としました。この価格設定は製造原価217円に対して著しく下回る価格であることから不当廉売として私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(第2条第9項第3号)に抵触しないか調査を行いました。本市顧問弁護士への相談により、市内という限定された範囲での販売であることから抵触しないことを確認しました。

## ③ 販路の確保

地域経済の活性化と地産地消商品として販売することを視野にし、“所沢”を発信する商品「所沢ブランド特産品」を取り扱う市内小売店を当初のターゲットとしました。さらに販売店へ買いに行くことが困難な方にも商品を手にとりていただくため、市内新聞販売店にも販売協力を仰ぎ、自宅まで届ける販路を確保しました。

なお、販路の確保には職員が積極的に営業活動を行うことで実現することができました。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

### 1. 販売実績

令和2年6月25日から販売を開始した紙パック水の売れ行きは、1週間後には追加注文が殺到するなど好調でした。この事業は、新聞やケーブルテレビなどの多くの報道機関に取り上げられ、視聴した市内事業者から取扱店の申し出を受け、当初(6月)の取扱店舗が13店舗であったところ、8月末には29店舗となりました。当初に販売目標として掲げた9,000本は、7月末には目標を達成し、8月末には約15,000本を販売することができました。取扱店舗からの反響は大きく、9月末には本局の販売用在庫がなくなり完売しました。

### 2. 購入者の声

取扱販売店舗の担当者からは、「年齢層は若いお客様がメインで、リピーターが多い」「箱単位(1箱6本入り)で購入する方も多い」「ところざわの水を購入したことをきっかけに所沢の水道についてのお問い合わせをいただいた」など、再度製造する際には購入を希望する声をいただきました。また、購入し

たお客さまからは、「水道水に地下水が1割混ざっていることを知った」「美味しい地下水と感じた」「パッケージのデザインが可愛い」「故郷への自慢のお土産になった」「紙パックだから購入した」など、高い評価を受ける声をいただきました。これらの反応から、水道への関心を高める効果や、環境問題に対する意識付けを得ることができたものと捉えています。

### 3. 成果

紙パック水「ところざわの水」の製造は、全国の水道事業者から多数の問合せをいただき、多くの報道機関にも取り上げられました。広く関心を向けられた本事業から、本市の水道水が、安全で、おいしい水であることをご理解いただき、今後の利用増加を期待するものです。さらに、プラスチックごみに対する発生抑制の一助となり、環境に配慮した事業がさらなる広がりを見せることを切に願います。

## 【参考資料】



〔 連絡先 〕

経営課

担当 瀬倉

04-2921-1087